

生産と販売を終了いたしました



Raptor GFX 550e

富士通 SPARC M10 UNIX サーバ対応

東芝 UX7000 S/S7-2 UNIXサーバ対応

PCI Express グラフィックスカード

Raptor GFX 550e

機能と特徴

- PCI Express サポート
- 2アナログまたは2デジタルディスプレイサポート
- 8ビットと24ビット色深度を同時にサポート
- 解像度 最高1920x1200（主ディスプレイ）アナログと1280x1024 デジタル
- DDC 自動構成、最適なモニター解像度と設定
- Solaris Ready™ 準拠
- 2つのディスプレイ間で1つの仮想画面

富士通 SPARC M10 UNIX サーバに対応した、PCI Express 対応のグラフィックスカードをご提供いたします。Raptor GFX 550e は、PCI Express インタフェースを持つ、最新の Solaris11 に唯一、グラフィックス ディスプレイ ソリューションを提供いたします。

テックソース社は、過去18年にわたり、SUN 対応のグラフィックス ソリューションを提供してまいりました。その経験と技術は、PCI Express の時代になっても、なんら問題なくグラフィックス ソリューションを移行することができました。

Raptor GFX 550e は、ロープロファイル PCI Express カードであり、T2000, M3000 などの同様な SUN サーバに多くの機能を提供いたします。

単にディスプレイとしての機能を提供するだけではなく、さらに8ビットと24ビットアプリケーションを同時にサポートする能力を備えています。それ故、古い新しいにかかわらず、多くの種類のアプリケーションをサポートすることができます。

カードは、2つのアナログモニター、あるいは2つのデジタルモニターをサポートしますので、拡張された表示画面を提供することで、ユーザの生産性を向上させます。

Raptor GFX 550e は、高品質な2Dグラフィックス、高性能ビデオアクセラレーション、および非常に鋭いイメージ品質を提供する、業界で初めての Solaris Ready™ を認可された PCI Express グラフィックス アクセラレータです。

Tech Source

Tech Source

Raptor GFX 550e 製品仕様

オンボードメモリ	32MB
ビデオインタフェース	2個のアナログ、または2個のDVI
リフレッシュ レート	最高 76Hz
最高 アナログ解像度	1920 x 1200 (主ディスプレイ) 1620 x 1200 (従ディスプレイ)
最高 デジタル解像度	1280 x 1024
接続コネクタ	LHF-60 (付属の Y ケーブルで 2 個のアナログまたは 2 個のデジタル出力)
バス インタフェース	PCI Express x 1
環境条件	
動作温度	0°C ~ 55°C
保存温度	-40°C ~ 75°C
周囲湿度	80% 相対湿度、結露のないこと。

ハードウェア環境	PCI Express スロットを搭載する、SPARC M10 UNIX サーバ、 SPARC Enterprise M3000, Oracle/SUN ワークステーション
ソフトウェア環境	Oracle/Sun Solaris 10 または 以上 設定と多種のデスクトップモニター解像度に適合するためのユーザフレンド リなインタフェースを持つ CDE と Gnome

認証	FCC Class A, CE, CSA, VCCI, Solaris™ Ready, HCL
----	---

東京都中央区日本橋本町1-9-13 日本橋本町1丁目ビル6F
情報システム営業部 電話:03-3270-5926 FAX:03-3245-1695 ;
名古屋支店 : (052)581-7291 大阪支店 : (06)6946-7751 E-mail: is@shoshin.co.jp <http://www.shoshin.co.jp>



株式会社 昌新